



発行所 財団法人兵庫県消防協会
神戸市中央区下山手通4丁目16番3号
編集発行人 関山 巧
定価 1部44円
題字 井戸 知事

火は見てる
あなたは離れる
その時を

平成十九年秋の叙勲

県下から消防功勞により十五名が受章

平成十九年秋の叙勲が十一月三日(文化の日)に発令されました。消防関係の受章者は、全国で四五四名、うち兵庫県では、元消防団・職員十五名が榮譽に輝きました。

した。

受章された方々は、永年にわたり国民の生命、身体及び財産を火災をはじめとする各種の災害から防護するとともに、消防力の強化・拡充に尽力し、社会公共の福祉の増進及び業界の発展に寄与した消防関係の方々です。

伝達式は、十一月七日(水)

一〇時〇〇分から東京・虎ノ門の日本消防会館内ニッショーホールで執り行われ、消防庁長官から各代表者に叙勲が伝達されま



秋の叙勲伝達式

〈全国消防関係受章者数〉

瑞宝小綬章	十一名
旭日双光章	三名
瑞宝双光章	九六名
瑞宝単光章	三四四名
計	四五四名

〈兵庫県下受章者(消防功勞)〉

◎瑞宝小綬章	元加古川市	消防正監	近田 緯
--------	-------	------	------

◎瑞宝双光章

元高砂市消防団
団長 田中 利昭



元淡路町消防団
団長 東根 弘



元八鹿町消防団
団長 藤本 健二



元朝来市消防団
団長 南 巧



◎瑞宝単光章

元明石市消防団
副団長 井上喜代司



元播磨町消防団
副団長 岡田 一昭



元尼崎市消防団
分団長 岡村 恒雄



元三原町消防団
団長 喜田 一之



元太子町消防団
団長 小山 猛



元小野市消防団
副団長 富田 茂勝



元神戸市西消防団
副団長 中嶋 伸平



元洲本市消防団

分団長 中所 叡志



元篠山町消防団
団長 松本 明雄



元姫路市網干消防団
団長 三輪 幹男



平成十九年秋の褒章

平成十九年秋の褒章が十一月三日(文化の日)に発令されました。消防団員として永年にわたり消防防災活動に献身的に努力し、消防の発展に大きく寄与した方々に授与される藍綬褒章は全国で五二名、うち兵庫県では、消防団員二名が受章の榮譽に輝きました。

伝達式は、十一月十六日(金)

一〇時四五分から東京の虎ノ門パストラルホテルで執り行われ、消防庁長官から代表者に褒章が伝達されました。

〈兵庫県下受章者(消防功勞)〉

◎藍綬褒章

西脇市消防団
団長 遠藤 明



神戸市長田消防団
団長 濱寄 爲司



第十三回 全国女性消防団員活性化熊本大会

兵庫県消防協会

第十三回全国女性消防団員活性化熊本大会が平成十九年十一月二日(木)に熊本県熊本市の熊本県立劇場で開催されました。

式典は全国から女性消防団員を始め、消防職団員二、〇〇〇人以上が参加する盛大なものとなり、兵庫県からも関山会長以下五四名が参加しました。

開会宣言の後、国歌斉唱、主催者あいさつ、開催地市町あいさつ、来賓あいさつ、来賓紹介と進行し、元力士でスポーツキャスターの舞の海秀平氏による記念講演となりました。「決してあきらめない」の演題のとおり、舞の海さんの穏和な雰囲気と熱い語り口に、自然と前向きにさ

せられるすばらしい講演となりました。続いて、熊本県立牛深高等学校郷土芸能部の皆さんによる「牛深ハイヤ節」が披露されると会場は盛大な拍手に包まれました。

休憩を挟んで、意見・体験発表、火災予防PR寸劇が行われ、兵庫県から神戸市北消防団有馬支団関口団員と芦屋市消防団石川団員が選出され、地域を越えた交流による活動について発表されました。

どの発表・寸劇もすばらしく、今後の課題や取組について考えるきっかけとなり、多くを学べたことと思います。最後に「大会宣言」次回開催

地の北海道への大会旗引継ぎが行われ式典は幕を閉じました。兵庫県からの参加団体は次のとおりです。

- 神戸市北消防団(有馬支団)
- 尼崎市消防団
- 芦屋市消防団
- 豊岡市出石消防団
- 小野市消防団
- 丹波市消防団



「決意あらたに」

播磨町消防団副団長

佐伯 達也



六〇名となりました。四五年前のことです。昭和五三年には、常備消防事務を加古川市に委託し、平成十二年には、地域住民の永年の願いであった消防分署が町内に設置され、消防業務及び救急業務の迅速化が図られました。

播磨町消防団は、明治四〇年阿間消防組として発足、警防団と改称ののち、昭和二年九月に、一団十一分団、団員数三五五名にて阿間村消防団となりました。

当時の所属分団には、ピックアップ型の普通小型ポンプ積載車一台、軽四小型ポンプ積載車二台があり、分団詰所は野添大寺の山門前に平屋建てで、消防団員が集まるのにも窮していましたが、昭和五九年に一階部分をポンプ庫とした鉄筋二階建ての消防会館が出来、現在は消防団員の処遇も改善されています。

消防団今昔

44

「基本理念を忘れずに」

丹波市消防団青垣支団

専任副団長

北山 正登



丹波市は平成十六年十一月に旧水上郡六町が合併して誕生した市で、同時に消防団も統合され、現在は団長を中心として、六支団三八分団九五部、団員定数二、六九六名で組織されており、青垣支団は四分団八部、団員定数三五〇名、車両十二台で

有事の際の出動に備えております。私は昭和五十一年に当時の青垣町消防団に入団し、平成十二年より青垣町消防団副団長、昨年十二月より青垣支団専任副団長に就任いたしました。

とともに、地域防災の要となる消防団の必要性を痛感したところです。しかしながら、少子高齢化や過疎化により団員確保が難しくなってきたことや、サラリーマン団員の増加による昼間火災での出動団員数の減少など、消防団を取り巻く環境は厳しくなってきたのが現状です。



講習会の開催

地区通信

「火災出動の第一歩は安全運転から!!」

宍粟市支部

宍粟市は平成十七年四月一日、旧宍粟郡山崎町、一宮町、波賀町、千種町の四町が合併し宍粟市として発足し面積は、兵庫県土の約七、八割を占める六五八、六八ととなりました。宍粟市の消防団は、合併後においても旧四町の消防団として活動を続けており、過疎化、少子高齢化、職業構造の変化等に伴い全国的に消防団員が減少する中、四消防団一、九七一名が「自らの地域は自らで守る」という崇高な郷土愛護の精神に基づき地域における消防防災の中核的存在として活動を続けております。

また、六月一日には必要な知識、技能の習得と規律の保持等を図ることを目的として四消防団、宍粟警察署、宍粟市消防本部合同により一八三名が参加する水防工法訓練を実施、消防団は分団長等の幹部団員が水防活動の基本である三段積土の工法を行い、消防団長が「監視員の配置等・安全管理意識の再確認を述べるとともに、創意工夫をこらした年々立派な訓練になっている。」と評されました。



水防工法訓練

平成十九年度

「第二回女性消防団員研修会」実施

兵庫県消防協会

平成十九年度第二回女性消防団員研修会が平成十九年十一月十七日(土)に神戸市北、芦屋市、加古川市、播磨町、小野市、朝来市、南あわじ市、各消防団の女性団員二九名参加のもと、兵庫県立広域防災センターにおいて開催されました。

続いて、全国女性消防団員活性化大会(一面参照)への出場を控えた、神戸市北消防団有馬支団関口団員と芦屋市消防団石川団員による活動・体験発表が行われ、全国へ向けて手応えをつかんだようでした。



研修風景

が、今後、ここで学んだことを今度は自分が教えなければならぬので、皆真剣に講習を受け方」というのも参考になったと思います。

最後にりましたが、三重県津市津消防団分団長の櫻川政子さん及び研修会にご協力いただきました消防学校教官の皆様には厚くお礼申し上げます。

北から南から

「日本のへそそのまち」西脇市」で

西脇市支部

東経一三五度と北緯三五度が交差するまち。「日本のへそ」のまち。それが西脇市です。

日本列島は、東経一二三度・北緯二四度と東経一四七度・北緯四六度に囲まれた枠の中に対角線上に並んでおり、大正八年、多可郡加美町（現多可町加美区）の金蔵山で開かれた郡内小学校で招かれた東京高等師範付属小学校の肥後盛熊先生が「西脇に日本の中心にあたる東経一三五度と北緯三五度の交差点がある」



テラドームと水遊びする人たち



にぎわうオートキャンプ場

と初めて指摘され、それが「日本のへそ」の起源となりました。日本のへそ地点「へそ公園」が整備され、ローラー滑り台をはじめとする多数の遊具、公園内にはにしわか経緯度地球科学館「テラドーム」、岡之山美術館の施設のほか敷地に隣接して電車が通り、二〇〇三年、第四回近畿の駅百選に選定されたJR加古川線「日本のへそ公園駅」が加古川のほとりに建て、水面から反射した光を受け止めています。

毎年、十二月には、この日本のへそ公園をスタート及びゴール地点とする「日本のへそ子午線マラソン」が開催され、二、〇〇〇人近くが参加しています。テレビドラマ「北の国から」で知られる富良野市は「北海道のへそ」としても知られており、昭和五三年一〇月二〇日、へそがとりもつ縁で友好都市親善協定を締結し、以来、お互いに交流を深めています。

平成十七年一〇月一日、旧西脇市と旧黒田庄町が合併して、「人輝き未来広がる田園協奏都市」を都市像として掲げる、面積百三二、四七坪、人口約四五、〇〇〇人の新生「西脇市」が誕生しました。

市内の北東部に位置する黒田庄地区には、日本有数のオートキャンプ場である兵庫県立東はりま日時計の丘公園があります。この東はりま日時計の丘公園は、日本の標準時「子午線II時」をテーマとして、約八九、〇〇〇㎡の敷地に菊の花をかたどったスタンドグラスや自分の影で時間の分かる日時計など多数のモニュメントが配置され、更に



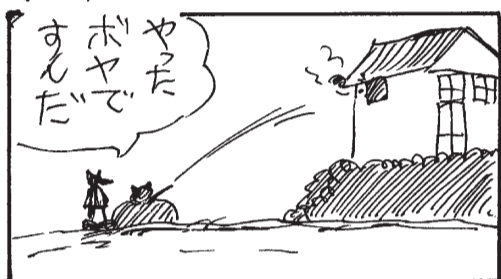
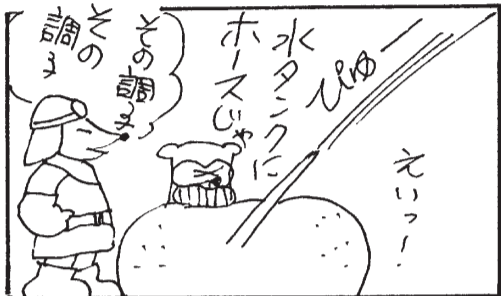
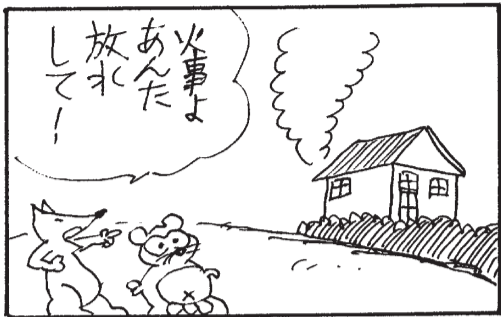
テラドームにある口径81cmの反射望遠鏡

都会の喧騒から離れた四季折々の自然に親しみながら、野外での生活を通して、家族がふれあい、楽しいひと時を過ごしていただくことができるでしょう。また、日本オートキャンプ協会が、五ツ星キャンプ場と認定したオートキャンプ場は全国でトップクラスの利用率を誇り、燻製教室や春のギフトチョウ観察などの一年を通じて行っている体験教室も好評です。

こんな西脇市を訪れ、素敵な思い出を残していただければと思います。

どっちの手柄?

どっちの手柄?



平成20年消防出初式日程表（1月実施分）

地区	実施日	市町名	開始時間	場 所	地区	実施日	市町名	開始時間	場 所		
神戸地区	1月6日(日)	神戸市	10:00	メリケンパーク	西播磨地区	1月6日(日)	太子町	9:30	太子町民グラウンド		
阪神地区	1月6日(日)	尼崎市	10:00	尼崎市立日新中学校校庭		1月13日(日)	相生市	9:30	那波中央公園		
		西宮市	9:30	武庫川河川敷公園			たつの市	9:30	千鳥ヶ浜グラウンド		
		川西市	8:30	川西市立西北小学校、川西市文化会館			赤穂市	9:30	千種川河川敷公園		
1月12日(土)	伊丹市	10:00	昆陽池公園多目的広場	上郡町			9:30	千種川親水公園			
東播磨地区	1月13日(日)	芦屋市	10:00	芦屋市立体育館・青少年センター	但馬地区	1月6日(日)	豊岡市豊岡	9:00	豊岡市民体育館		
		宝塚市	10:00	宝塚市立西谷小学校グラウンド			豊岡市城崎	10:00	城崎小学校・城崎総合支所		
		猪名川町	9:30	猪名川町文化体育館・猪名川町総合公園			豊岡市竹野	9:30	竹野中学校体育館		
1月13日(日)	明石市	9:45	明石市役所周辺・明石市市民会館	豊岡市但東			9:30	但東市民センター			
中播磨地区	1月6日(日)	加古川市	9:00	加古川市防災センター	丹波地区	1月7日(月)	豊岡市出石	9:30	出石中学校		
		高砂市	9:30	高砂市総合運動公園・総合体育館		1月5日(土)	篠山市	10:00	たんば田園交響ホール		
		加古郡 (稲美町、播磨町)	10:00	播磨町立蓮池小学校		1月6日(日)	丹波市	8:00	春日体育センター		
		姫路市	9:30	東阿保緑地		淡路地区	1月6日(日)	洲本市	9:00	五色庁舎3階文化ホール	
福崎町	9:30	田原小学校グラウンド	南あわじ市	9:30	南あわじ市三原健康広場						
	1月13日(日)	市川町	9:00	川辺小学校グラウンド					淡路市	10:00	岩屋中学校グラウンド

地区通信

「防火・防災に市民救急 そしてポンプ操法大会へ」

神戸市灘消防団

「北に六甲山、南には神戸港」海と山に囲まれた風光明媚な街神戸市灘区を管轄する、我が神戸市灘消防団は昭和二二年に発足以来、地域と密着した地域防災の担い手として、団長以下一四〇名の団員が一致団結して防火・防災・市民救急指導にと幅広く活動しています。

まず、防火編としては、各団員が数名単位でグループを作り、自分たちが住む街を隅々まで歩いて見回る「わが街防火点検」があり、地図を片手に放火されやすいところは無いかな、市場やアーケード街などの防火管理は万全かなど、自分達の街を自分で守るには自らの足で稼ごうと、地域の皆さんに一声掛けながら歩いて見回るものです。そして、防災意識は子ども達

から！そんな思いから、震災の教訓を語り継ぐために灘区で開催された小学校四年生を対象とした「ファイヤーアドベンチャー」にも協力して、放水体験やロープ結索を子ども達に伝えて行きました。

また、灘消防団は「市民救命士」育成に尽力しています。神戸市では普通救命講習を修了された方を「市民救命士」として認定していますが、その講習会を主催して実施することができ「市民救命士講習実施団体」として灘消防団も登録しており、その講習会の実施回数や養成人数は、市内でも一、二を争っています。今年度も十月末現在、一、三七八名の市民救命士を養成しています。

さらに極め付けは、来年度実施されます「兵庫県消防操法大会（小型ポンプの部）」への出場です。従来、神戸市の消防団では北消防団または西消防団が参加していまし



市民救命士講習の風景



わが街防火点検の風景



ファイヤーアドベンチャーの風景

たが、神戸市の市街地消防団として初めて当大会に灘消防団が出場することとなりました。過去の大会のビデオと実施要綱などの説明資料に目を凝らし、一から手探りで奮闘しています。ポンプ操作やホース延長は普段から訓練していますが、いざ操法となるとちょっと不安が。訓練場所や訓練時間も充分ではありませんが、数年前から導入している「ポンプ操法指導員制度」により伊藤団長から任命された指導員（団員）が選手を叱咤激励し、また、訓練の支援員（団員）が後方から支えながら、試行錯誤を繰り返しつつも、神戸市の代表として、全団員一丸となって優勝目指してがんばっていますので、皆様の暖かいご声援をお願い申し上げます。今後とも灘消防団をよろしくお願

いいたします。

「地域の鉄人」

南あわじ市消防団 神代第一分団 吉田 幸司



南あわじ市消防団神代第一分団は、淡路島の南部に位置し、まわりを山林に囲まれ広範囲にわたる純農村地を活動範囲としております。私は、高校を卒業後島外での四年間の大学生活を経て、生まれ育った地元のおわじ島農協に就職しました。それと同時に消防団に入り約二年が経ちます。

消防団の活動は、年始の初出

われら若手消防団員

〈4〉

式には始まり、操法大会、大規模地震を想定した訓練、また地域住民への初期消火等の講習会、年末夜間警戒、当然昼夜を問わずの火災や自然災害への出動など非常に多岐にわたります。入団して一年目の活動を通じて感じたことは、我が神代第一分団は、単なる仲良し集団ではなく、南あわじ市消防団真野団長がスローガンに掲げる、いわゆる「闘志士集団」でありました。そんななか、私も日々の訓練に研鑽を積み、まだまだ微力ながら共に地域住民の安心、安全を願う地域を守っています。また、今年開催された南あわじ市消防操法大会



南あわじ市消防操法大会優勝！

では、自動車ポンプの部三番員として出場し、見事優勝することができました。来年は、神代第一分団、より一層一致団結し南あわじ市大会はもとより、全国大会出場をめざして頑張ります。最後にになりましたが、私は来年初めに結婚し家庭を持ちます。家庭を守り、地域住民の安心、安全を守る「地域の鉄人」をめざし日夜訓練に励みます。

年内も残り少なくなってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、今月号では「秋の叙勲・褒章」「第十三回全国女性消防団員活性化熊本大会」「平成十九年度第二回女性消防団員研修会」「平成二〇年消防出初式日程表」の記事を掲載しております。

また、今回の消防団今昔には播磨町消防団副団長佐伯達也さん、丹波市消防団青垣支団専任副団長北山正登さんより寄稿いただきました。厚くお礼申し上げます。

年末警戒や年明けには出初式を控え、普段にもまして忙しい日々を送られていることと思いますが、何事も体が資本です。体調を崩されないようお気を付けて下さい。

「消防団活動を通じて」

姫路東消防団 船津分団 班長 高橋 雅文



私が消防団に入団するきっかけとなったのは、町の年末警戒担当日に、顔を出したことでした。

何年間も、年末警戒に参加するだけでしたが、徐々に他の警備にも顔を出すようになり、四年前の盆踊りの警備に参加したとき、消防の法被と活動服等一

式を支給されて、消防団活動に参加するようになり、平成十六年二月に当時の班長から、正団員として活動してほしいと依頼があり入団しました。

当初は、今までは大差なく、年数回の放水訓練と年末警戒等に参加する程度でしたが、昨年班長に昇任したことで、団活動が数多くあることを知り、消防団活動に携わる事がなければ、防災に関する認識も浅いままで終わっていたように思います。

班長を経験して思うことは、分団幹部の意向が末端の団員まで伝わらない部分があるという点です。自分の体験や引継ぎをまめに伝えていくことが大切であると痛感しました。その様な中で、消防団員として参加した水防訓練や避難所設



水防訓練

営訓練は、実践訓練として地域住民の方たちと共に取り組み、災害時に役立つと感じました。

万が一、災害が発生した場合、一人でも多くの方が冷静で迅速な活動が出来るよう、地域ぐるみで取り組み、そのどこかで少しでも役に立っている消防団員になれるよう頑張ります。

「こんにちは！ひょうごの消防団です」



http://www.hyogoshoubou.jp/

編集後記